

【学校教育目標】 未来の創り手となる子の育成

自ら学ぶ子

共に生きる子

たくましい子

<令和8年度重点取組>

少人数、小集団における豊かな学び・個を最大に伸ばす個別最適な学習の実施
ICT活用・授業研究の推進による個別最適な学びの実践研究

学校キーワード

みんなでのびる みんなとつくる みんながかわる

自立した学び手の育成
～より豊かに学ぶ～

豊かな心の育成
～思いやりをもって学ぶ～

健やかな心身の育成
～社会・未来を学ぶ～

① 楽しくわかる授業の実現

・ねらい達成のための見取りを生かした支援と授業設計

→明確な達成基準と評価

→結果に基づく指導、反復練習。

・どの子も伸ばすメニュー

協働⇔個別、を柔軟に

・学習用端末の積極的・効果的な活用

② やりきる指導

・生活や学習のあたり前の徹底

③学級力、学校力向上

・検定、テスト等の活用による集団力の把握と手だて

・結果に基づく指導改善

① 認め合い・高め合う集団づくり

・あたり前を尊重した共通対応

・4つの視点を生かした生徒指導

・コミュニケーション能力の伸長

・のびるんタイムでの全校活動

1年を通してのたてわり活動の充実（高学年のリーダーシップ、低学年のフォロワーシップ）

② 読書指導（質・量・習慣）

・必読書、並行読書の設定

・情報収集、活用指導

・家庭（地域）読書活動

③ 家庭・地域との連携

・あいさつの推進

・積極的な情報発信

・地域人材の活用

① 自治活動・特別活動の活性化

・委員会活動、体力づくり等のチャレンジ活動の充実

② 健康教育の充実

・心身ともに健康な子を育成する協働体制づくり（生活習慣・家庭学習・スマホ、ゲーム使用）

・セルフコントロール力の向上

③ 地域の理解とふるさとづくり

・地域理解と連携・発信活動

・課題を見つけ探求する活動

④ これからの学校づくり

・効率的、効果的なカリキュラムの研究

・他校との交流・協同学習

・児童主体の学校行事の推進

<学校経営の在り方> 小規模や複式指導の課題や強みを踏まえ、目指す学校実現に組織的に取り組む学校

<学校経営の具体>

□UDLに基づく組織的指導・対応の定着・・・あたり前の尊重。粘り強い学習態度や生活の実現。

□効果的・効率的なカリキュラムの研究推進・・・複式・少人数での豊かな学びの追及と実現。地域資源の活用。

□地域・保護者と協働する開かれた学校づくり・・・信頼に応える学校。評価等による経営改善。

□小規模集団の利点を生かした個別最適化の学び・・・達成基準の明確な設定。結果に基づく確実な対応。力のある子への対応。

□双方向の学びの工夫・・・地域・他校等との交流。

□学校力を支える人づくり、組織づくり・・・担当の明確化。組織参画を促す起案や支援システム。OJT。業務改善。

□校内研修の充実・・・授業や単元構想、カリマネ。児童理解、生徒指導。